

荘銀かねやま絆の森

株式会社荘内銀行

フィデアグループサステナビリティ方針

荘内銀行は、「フィデアグループサステナビリティ方針」に掲げる5つの重要な社会課題の解決に取り組むことを通じて、地域社会・地域経済の持続的な発展に貢献するとともに、当グループの企業価値向上を目指してまいります。



第4期協定期間 3か年計画

所在地 金山町大字金山地内 面積：49.65ha
協定期間 第4期 2023年4月1日～2025年3月31日
協定者 荘内銀行、(有)三英クラフト、山形県、金山町
活動内容 荘内銀行は、二酸化炭素の吸収源確保や生物多様性の保全、環境教育の実践と参加者相互のコミュニケーション活性化を目的に、金山町で森づくり活動を展開。協定者が連携し、これまで植林、下刈り、裾枝打ち・つる切りなどの保育活動のほか、自然観察体験、林産資源活用体験、木工クラフト体験、再生エネルギー勉強会など、森に関わる様々な体験活動を行い、森林の保全や活用に関する重要性について理解を深めてきました。第4期協定期間では、「持続可能な地域社会の実現に向けた学びと実践」をテーマに、育林活動などの現地活動に加え、ワークショップやセミナーといった啓発機会も企画しています。

年次	活動計画概要	内容
2023年度	・枝打ち体験 ・サステナビリティ・ワークショップ	・荘銀かねやま絆の森での枝打ち体験 ・カーボンニュートラル ワークショップ
2024年度	・大美輪の大杉整備活動 ・下刈り体験など	・金山町で森づくり活動を行う富士フィルムBI(株)と共催で森づくり活動を展開
2025年度	・枝打ち・つる切り体験 ・サステナビリティ・セミナー	・荘銀かねやま絆の森での育林作業 ・実社会との結びつきを意識した事業を企画中

2023年度森づくり活動：①育林活動

実施日：2023年10月28日(土)

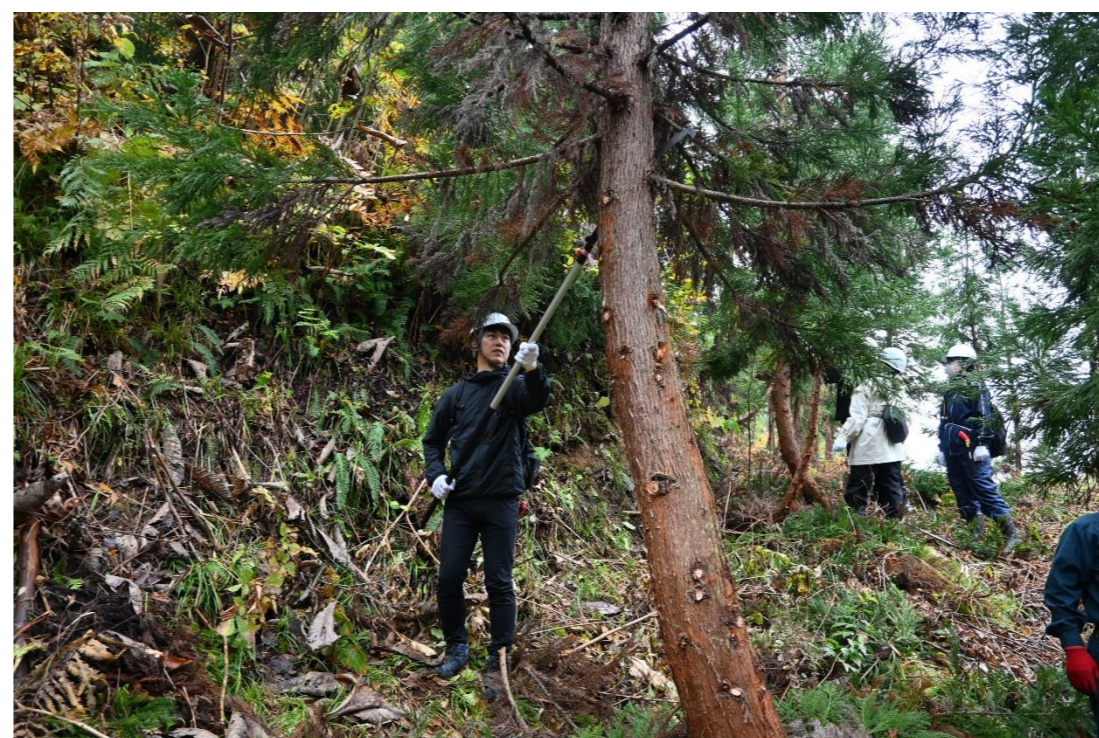
参加者：総勢30名(うち当行関係者23名)

2023年度森づくり活動は、絆の森での育林活動に加え、カーボンニュートラル ワークショップを実施しました。

育林活動：枝打ち作業

第1回目(2010年度)の森づくり活動で植樹した杉が14年目を迎え6mほどまでに成長。手入れが必要な時期に入ったことから、下枝や枯れ枝を切り落とす整備活動を実施しました。

枝打ちは節のない上質な杉の育成に必要であるほか、森林の光環境を改善し、森全体の健全性にも寄与する作業です。



【参加者のコメント】

・普段目にする「木材」になるまでの過程を知り、育林作業を体験することで、木を育てることの大変さと続けていくことの難しさを実感した。

・小さな苗木から大きく成長した姿を見て、木を育てることは未来へのプレゼントであり、世代間でリレーされていくものだと感じた。今回の活動もふるさとの未来のため、と思うという気持ちが入った。

2023年度森づくり活動：②カーボンニュートラル ワークショップ

2050年カーボンニュートラルの達成に向け、参加者が金融機関役やメーカー役といった企業のほか、NPO役や政府役など12のチームに分かれて、組織や個人の活動をロールプレイ。さまざまな経済活動がCO2排出・吸収量に与える影響をシミュレーションし、カーボンニュートラルの仕組みや実現が叫ばれている理由や組織・個人として「今どうすべきか」について学びました。

【参加者のコメント】

・カーボンニュートラルの達成には組織・個人を超えた情報連携・行動が鍵。SDGsの達成目標に「パートナーシップ」が掲げられている理由を理解した。

・利益を追求するだけでなく、地球環境など広い目線で物事を考える必要があると実感。お客さまからご相談いただいた際もその目線を忘れず、脱炭素化やサステナ経営についての的確なアドバイスができるよう努めていく。

